

eyes

| 2015 Vol.85 |

TOKYO METROPOLITAN MUSEUM OF PHOTOGRAPHY
NEWS MAGAZINE

ただいま全館休館中です

東京都写真美術館は、現在、館の大規模改修工事に伴い2016(平成28年)年8月末(予定)まで休館中です。1990(平成2)年の一次開館、そして1995(平成7)年の総合開館以来、約20年間にわたり写真と映像専門の総合美術館として、日本におけるセンター的役割を担ってまいりました。この度の改修工事で、経年劣化に伴う設備機器の更新等をおこない、公共施設としてお客様により安心で快適な美術館へと生まれ変わります。長期にわたる休館となりますが、皆様のご理解をお願い申し上げます。



照明機器テストをおこないました

当館では5月～9月にかけて、新しくなる展示室で使用する照明機器や壁材、床材などの選定をおこないました。中でも照明機器は、総合開館(1995年)から使用していたハロゲンライトをLEDライトに変更するため、複数メーカーの機器を集め、実際に作品に光をあてて見え方を比較するテストを何度も繰り返しました。照明機器は、演色性(照明の光が対象物の色を忠実に再現しているか)や、作品への負荷(光による褪色等)を考慮し、作品の美しさを最大に際立たせることが重要ですが、長く使用するものなので、操作性や汎用性も見逃せません。作家性や制作年代、モノクロやカラーなど、それぞれの作品にふさわしい展示照明を見極めることは、作品と常に向き合っている学芸員の専門知識を総動員する作業となりました。新しくなる展示室にどうぞご期待ください。



テストを繰り返す職員たち。同じ作品でも光によって見え方が大きく変わり、思わず声が上がること。

教育普及事業の出張スクールプログラムが好評です

スクールプログラム



小金井市立前原小学校でおこなわれた青写真制作の出張スクールプログラム(平成27年7月7日開催)。教室で印画紙をつくり、学校近くの河原で露光しました。

ティーチャーズプログラム



「学校と文化施設をつなぐ ティーチャーズプログラム2015」(公益財団法人東京都歴史文化財団主催、平成27年7月30日開催)で行った作品鑑賞の実践。対話をしながら鑑賞すると、作品の見方が広がりました。

通常は、美術館で授業をおこなうことが多いスクールプログラムですが、休館中は、学芸員が学校に出向く出張形式でおこなっています。はじめて訪問する学校で作品を制作するため、綿密な事前打ち合わせやボランティアスタッフとの連携が欠かせませんが、子どもたちはいつもの教室で、のびのびと授業に取り組んでいます。

また、この夏は、教員を対象にした研修会を2回実施しました。参加した先生方は、対話による作品鑑賞や、コマ撮りアニメーション、青写真の制作などを熱心に体験しました。

あお しゃ しん 青写真をつくろう!

スクールプログラムやワークショップで人気の「青写真」。「日光写真」と聞くと懐かしい方もいらっしゃるでしょう。別名を「サイアノタイプ」といい、美しい青色のプリントに仕上がるのが特徴です。19世紀を起源とする古典技法で、印画紙を簡単に手作りすることができます。当館では「青写真」の印画紙を使って、身近なモチーフの形を写し取る作品制作をおこなっています。太陽の光で影を写し取ることのできる「青写真」は、デジタル写真では実感できない「写真を焼く」という感覚が体験できます。ここでは、当館でおこなっている制作方法をご紹介します。

用意するもの(薬品の分量は画用紙8枚分の目安)

○クエン酸鉄アンモニウム	20g	○スポンジローラー
○フェリシアン化カリウム	10g	○モチーフ
○精製水	200ml	(プラスチック、布、葉っぱなど、光をとすもの)
○オキシドール	適量	○画板 または クリップボード
○画用紙(272×197mm)	8枚	○透明アクリル板または透明プラスチック板

STEP.1 感光液をつくります

- 1 精製水100mlとクエン酸鉄アンモニウム20gを混ぜ合わせます
- 2 精製水100mlとフェリシアン化カリウム10gを混ぜ合わせます
- 3 上記①と②を混ぜ合わせて、感光液が完成です

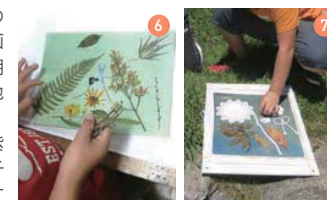
STEP.2 印画紙をつくります

- 4 スポンジローラーに③の感光液を含ませ、画用紙に塗布します。鮮やかな黄緑色の印画紙ができます。
- 5 塗布後の印画紙は暗いところで十分乾燥させます(明るいところだと徐々に感光してしまいます)



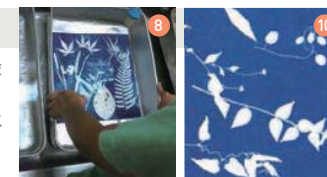
STEP.3 作品をつくります

- 6 カーテンをしめた室内で、⑤の印画紙の上にモチーフ(主に透過性のある素材)をレイアウトします。印画紙とモチーフを密着させるために、画板やクリップボードなどの上に印画紙とモチーフを並べ、その上から透明アクリル板などで固定します。天気の良い時は、密着していないもの(地面の上にてきた木陰の形や自分の影など)を写すこともできます
- 7 太陽光での露光をおこないます(夏の晴天時で5-10分程度が目安。紫外線量の多い春から夏がおすすです)。印画紙の色が変化する様子で焼き上がりを判断します。濃い青から白っぽく変色すれば、露光終了です



STEP.4 仕上げ

- 8 露光が終わった印画紙を静かに水洗いし、余分な薬品を洗い流します(5分程度)
- 9 画像のコントラストを上げるために、オキシドールに1分間ほど浸し、水洗いをします
- 10 乾燥させて、作品が完成します(⑨を割愛しても作品は完成します)



1 廃液の処分方法

フェリシアン化カリウムは産業廃棄物です。廃液業者に依頼して処分してください(感光液も同様)。クエン酸鉄アンモニウムは一般下水道に排水できます。

東京都写真美術館の活動をご支援いただくため、次の企業・団体に支援会員としてご入会いただきました。

- | | | | | |
|--|---|--|--|---|
| 特別賛助会員
キヤノン(株)
(株)資生堂
(株)ニコン
特別支援会員
(株)キタムラ
キヤノンマーケティングジャパン(株)
大日本印刷(株)
凸版印刷(株)
富士フイルム(株)
(株)リコー
支援会員
(株)I&S BDDO
(株)AOI Pro.
(株)アサソー ディ・ケイ
旭化成(株)
朝日新聞社
(株)朝日新聞出版
朝日生命保険(相)
アサヒグループホールディングス(株)
朝日放送(株)
アスクル(株)
(株)アートよみうり
(株)アマナ
(株)岩波書店
ウェスティンホテル東京
(株)潮出版社
内田写真(株)
(株)栄光社
(株)エスジー
(株)ADKアーーツ
NECディスプレイソリューションズ(株)
(株)NHKアート
NHK営業サービス(株)
(株)NHKエデュケーショナル
(株)NHKエンタープライズ
(株)NHKグローバルメディアサービス
(株)NHK出版
(株)NHKビジネスクリエイト
(株)NHKメディアテクノロジー
NTT都市開発(株)
エプソン販売(株)
エルメス財団
(株)Office Mam
オリックス(株)
オリンパス(株)
(株)オンワードホールディングス
花王(株)
カシオ計算機(株)
鹿島建設(株)
(株)KADOKAWA
カトーレック(株) | 神奈川新聞社
カルピス(株)
(株)キクチ科学研究所
キックマン(株)
(株)紀伊國屋書店
ギャラリー小柳
共同印刷(株)
(一社)共同通信社
協和発酵キリン(株)
(株)久米設計
興亜硝子(株)
(株)弘亜社
(株)廣済堂
(株)講談社
(株)光文社
(株)国書刊行会
(株)コスモインターナショナル
(株)コーセー
コダック(同)
小山登美夫ギャラリー(株)
(株)ザ・アール
サッポロ不動産開発(株)
サッポロホールディングス(株)
三機工業(株)
産経新聞社
サントリーホールディングス(株)
(株)サンライズ
(株)ジェイアール東日本企画
JSR(株)
JXホールディングス(株)
ジェイティビー印刷(株)
(株)シグマ
(株)実業之日本社
信濃毎日新聞社
(株)写真弘社
写真の学校 / 東京写真学園
シャンネル(株)
(株)集英社
(株)主婦と生活社
(株)主婦の友社
(株)小学館
松竹(株)
信越化学工業(株)
(株)新潮社
(株)スタジオアリス
(株)スタジオエムジュー
(株)スタジオジブリ
スターツ出版(株)
住友化学(株)
住友生命保険(相)
花王(株)
(株)生活の友社
セイコーホールディングス(株)
(株)青春出版社 | 成美製版(株)
積水ハウス(株)
全日本空輸(株)
ソニー(株)
損害保険ジャパン日本興亜(株)
第一生命保険(株)
第一法規(株)
(株)タイケングループ
大成建設(株)
(株)大丸松坂屋百貨店
大和証券(株)
(有)タカ・インシギャラリー
高砂熱学工業(株)
(株)高島屋
(株)宝島社
(株)竹中工務店
玉川大学芸術学部
(株)タムロン
(株)丹青社
(株)中央公論新社
中外製薬(株)
帝人(株)
(株)TBSテレビ
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)
(株)テレビ朝日
(株)テレビ東京
電源開発(株)
(株)電通
(株)電通テック
東亜建設工業(株)
東映(株)
東急建設(株)
東京海上日動火災保険(株)
東京急行電鉄(株)
東京工芸大学
東京新聞・中日新聞社
(株)東京スタデオ
東京造形大学
東京総合写真専門学校
東京テアトル(株)
東京都競馬(株)
(株)東京ドーム
(株)東京ニュース通信社
(株)東京美術倶楽部
(株)専門学校 東京ビジュアルアーツ
東京メトロポリタンテレビジョン(株)
(株)東芝
東宝(株)
(株)東北新社
(株)東洋経済新報社
東洋熱工業(株) | (株)トキワ
(株)徳間書店
戸田建設(株)
(株)トータルプランニング
オフィス
トヨタ自動車(株)
(株)トロンマネージメント
(株)ニコンイメージングジャパン
日外アソシエーツ(株)
日油(株)
日活(株)
(株)日経BP
日光ケミカルズ(株)
日産自動車(株)
(株)日本カメラ社
日本空港ビルデング(株)
日本経済新聞社
(株)日本広告社
(公社)日本広告写真家協会
日本コルマー(株)
(株)日本色材工業研究所
日本写真印刷(株)
(公社)日本写真家協会
(公社)日本写真協会
日本写真芸術専門学校
(一社)日本写真文化協会
日本大学芸術学部
日本たばこ産業(株)
日本テレビ放送網(株)
(株)ニッポン放送
日本ロレックス(株)
(株)ニューアートディフュージョン
ノーリツ鋼機(株)
(株)博報堂
(株)博報堂DYメディアパートナーズ
(株)博報堂プロダクツ
(株)バス・コミュニケーションズ
(株)ハースト婦人画報社
パナソニック(株)
(株)パラゴン
パリミキ
ぴあ(株)
ビービーメディア(株)
北海道 写真の町東川町
東日本旅客鉄道(株)
光写真印刷(株)
(株)美術出版社
(株)日立製作所
(株)日立物流
(株)ビックカメラ
(株)ビデオプロモーション
ヒノキ新薬(株)
(株)ピラミッドフィルム | (株)ファーストリテイリング
富国生命保険(相)
富士重工業(株)
(株)フジテレビジョン
(株)双葉社
(株)ブラザクリエイト
(株)プリンスホテル
(株)ブルーヒルズ
(株)フレームマン
(株)文化工房
(株)文藝春秋
(株)ベネッセホールディングス
ベルボン(株)
北海道新聞社
(株)ホテルオークラ東京
(株)堀内カラー
本田技研工業(株)
毎日新聞社
(株)マガジンハウス
丸善(株)
(株)マンダム
(株)みずほ銀行
三井住友海上火災保険(株)
三井住友信託銀行(株)
三井倉庫(株)
三井不動産(株)
(株)三越伊勢丹 三越恵比寿店
三菱地所(株)
三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)
三菱電機(株)
三菱UFJ信託銀行(株)
(株)ミルボン
武蔵大学
明治安田生命保険(相)
森ビル(株)
ヤマトロジスティクス(株)
横河電機(株)
(株)吉野工業所
(株)ヨドバシカメラ
読売新聞社
ライオン(株)
ライカカメラジャパン(株)
リコーイメージング(株)
リシュモン ジャパン(株)
モンブラン
(株)良品計画
(株)ロボット
(株)ワコウ・ワークス・オブ・アート
(株)ワコール
(株)ワッツ オプトキーオー |
|--|---|--|--|---|

(株)=株式会社、(相)=相互会社、(有)=有限会社、(学)=学校法人、(公社)=公益社団法人、(同)=合同会社、(一社)=一般社団法人

(平成27年10月現在・五十音順)

企業交流会を開催しました

支援会員では、本年度、会員企業様の文化活動の紹介と見学および会員相互の交流を意図して、企業交流会を2回実施いたしました。多くの皆様にご協力をいただき、おかげさまで好評のうちに終了いたしました。

第1回

- 開催日:平成27年6月10日(水)
- 会場:竹中工務店 社内およびギャラリーエークウッド (東京都江東区)

竹中工務店は、大工道具館、育英会、ギャラリーの3つの公益財団法人の運営を支援し、2014年、ギャラリーエークウッドの活動が評価され企業メセナ協議会のメセナ大賞を受賞しました。ものづくりの原点に立ち返り、建築の愉しみを伝える発信拠点としての活動全般をご紹介いただきました(会員企業24社46名様および写真美術館関係者16名が参加)



社内展示に注目する会員の皆様

第2回

- 開催日:平成27年10月16日(金)
- 会場:資生堂企業資料館、アートハウス、掛川工場 (静岡県掛川市)



資生堂企業資料館外観

資生堂は、創業120周年を迎えた1992年に掛川に企業資料館を開設し、商品や宣伝制作物、さまざまな資料を収集保存、一部を展示公開しています。アートハウスでは、「香水瓶の世紀 ルネ・ラリック 幻視のファンタジー」展を鑑賞。掛川工場は白衣を着て見学しました。企業の芸術文化支援活動にふれた一日でした(会員企業21社36名様および写真美術館関係者17名が参加)

第8回恵比寿映像祭

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2016



動いて Garden in Movement いる庭



Thursday, 2/11 - Saturday, 2/20 / 2016 [10 days]
平成28年2月11日(木・祝)~2月20日(土)《10日間》

会場 / ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンシネマ、日仏会館、STUDIO38、
恵比寿ガーデンプレイス センター広場 ほか

時間 / 10:00~20:00 ※最終日は18:00まで 入場 / 無料 ※上映、ライブ、レクチャーなど、定員制のものは一部有料

[主催] 東京都 / 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 日本経済新聞社 [共催] サッポロ不動産開発株式会社 / 公益財団法人日仏会館 [後援] J-WAVE 81.3FM [協賛] SHISEIDO / 東京都写真美術館支援会員 [寄付] 富士重工株式会社 [協力] KyotoDU / びあ株式会社 / 株式会社北山創造研究所 / 株式会社トリプルセブン・インタラクティブ / 株式会社ロボット

会場 | Venues

- ① ザ・ガーデンホール
 - 展示・ラウンジトーク Exhibition・Lounge Talk
 - The Garden Hall
東京都目黒区三田1-13-2
恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place,
1-13-2 Mita, Meguro-ku, Tokyo
- ② ザ・ガーデンルーム
 - イベント Event
 - The Garden Room
東京都目黒区三田1-13-2
恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place,
1-13-2 Mita, Meguro-ku, Tokyo
- ③ STUDIO38
 - 展示 Exhibition
 - STUDIO38
東京都渋谷区恵比寿4-20-3
● 恵比寿ガーデンプレイスタワー 38F
Yebisu Garden Place Tower 38F,
4-20-3 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

④ 恵比寿ガーデンプレイス センター広場

オフサイト展示 Off-site Project

Center Square of Yebisu Garden Place
東京都渋谷区恵比寿4-20
恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place,
4-20 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

⑤ 恵比寿 ガーデンシネマ

上映 Screening

Yebisu Garden Cinema
東京都渋谷区恵比寿4-20-2
恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place,
4-20-2 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

⑥ 日仏会館 ホール・ギャラリー

シンポジウム・展示 Symposium・Exhibition

Auditorium and Gallery of
the Maison Franco-Japonaise
[French-Japanese House]
東京都渋谷区恵比寿3-9-25
3-9-25 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

⑦ 恵比寿地域文化施設 およびギャラリーほか

地域連携プログラム Partnership Program

Related cultural facilities, galleries, etc.



東京都写真美術館
www.yebizo.com

恵比寿の街を舞台に、アートと映像の国際フェスティバルを開催!

第8回恵比寿映像祭「動いている庭 Garden in Movement」 平成28年2月11日(木・祝)～2月20日(土)《10日間》 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2016 Thursday, 2/11 - Saturday, 2/20/2016 [10days]

災害や開発などにより、人間をとりまく環境が刻々と変化している現在、人と自然との新しい関係性をいかに見いだすかが問われています。フランスの思想家・庭師であるジル・クレマンは、荒地における植物のふるまいをモデルケースに、「動いている庭」という庭のあり方を見いだしました。そこでは人間のみが中心なのではなく、むしろ自然がつくりあげていく世界像が描かれています。

この「動いている庭」というコンセプトを出発点とし、第8回恵比寿映像祭では、現代社会を、日々変容する庭ととらえ直します。さまざまな映像作品やメディア表現を通じ、文字どおりの自然のみならず、人間がうみだしたテクノロジーやめまぐるしく変化する都市環境、不可視のネットワーク社会といった、現代の自然というべき現象が、今日的なヴィジョンとして立ち現れてくるでしょう。

We live in a time when disasters and development work hourly changes on our environment, and we are led to ask how we can forge a new relationship between people and nature. The 8th edition of Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions takes as its starting point the French philosopher and gardener Gilles CLÉMENT'S "Garden in Movement", modeled on the behavior of plants that thrive in wasteland settings. It is not people alone who occupy center stage in the "Garden in Movement"; rather, an image of the world is generated and replenished as if by nature itself. Similarly, through a wide array of moving images and media expression, this year's Yebisu Festival takes a new look at contemporary society as a garden that changes day by day, and something we might call "contemporary nature," as well as "nature" in the conventional sense — technologies invented by people, self-generating urban environments, invisible networked societies — emerges and introduces itself as a vision for our times.



1. 中谷芙二子(砂漠の霧微気象園)(オーストラリア国立美術館・彫刻庭園、キャンベラ) [参考図版]
2. 銅金裕司(ラディオアクティブ・プラントロン/シンプル・インターアクション)(ロスキレ現代美術館、デンマークにて)2011年 [参考図版] 3. ビョトル・ボサツキ(ラビリンス・フィルム)2014年 4. ジョウ・タオ(青と赤)2014年 5. 平井優子(猿婚-The face of strangers)2014年 [参考図版] 6. ビサネ・アル・シャリフ&モハマド・オムラン(空を失くして)2014年 7. クワクボリョウタ(lost and found)

2013年 協力:六甲山観光株式会社 8. ジャナーン・アル＝アーニ(グラウンドワークスⅢ)2013年
9. ネリヴアー・レスラー(見えるもの、見えないもの)2014年 10. ロバート・ノース&アントワネット・デ・ヨング(木と土)2015年 11. ベン・ラッセル(アトランティス)2014年 12. クリス・チョン・チャン・フイ(END74 Pholidota sigmatochilus)「固有種」シリーズより、2015年 13. ビデオアース東京(橋の下から)1974年 14. 葉山銀(土地からやってくる、ある小ささ)2015年

恵比寿映像祭とは

恵比寿
映像祭

年に一度、東京・恵比寿の地で、展示、上映、ライブイベント、トーク・セッション等を複合的にこなすことを通じて、映像分野における創造活動の活性化と、優れた映像表現やメディアを、過去から現在、そして未来へいかに継承していくかという課題について、あらためて問い直し、対話を重ね、広く共有する場となることを目指すユニークなフェスティバルです。昨年度に引き続き今年度も、ホームベースである東京都写真美術館の改修休館にともない、美術館の建物を飛び出し、さらに地域とのつながりを深めて開催いたします。

The Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions is a unique event that offers a multiplicity of exhibitions and screenings of moving images, live events, talk sessions, and more. Held annually in Tokyo's Ebisu (Yebisu) district, the Festival aims to become a widely shared venue for ongoing dialogue and inquiry into the question of how to stimulate creative activity in the moving-image arena, develop excellence in moving-image expression and media, and carry our rich inheritance from the past into the present and forward into the future. Following the last year the Festival coincides with the temporary closure of its home base, the Tokyo Metropolitan Museum of Photography, for renovation; it is therefore reaching out beyond the museum building itself to deepen its ties with the region.

[出品予定作家]

ジャナーン・アル＝アーニ(イラク/イギリス)/ビサネ・アル・シャリフ&モハマド・オムラン(シリア/フランス)/ビョトル・ボサツキ(ポーランド)/クリス・チョン・チャン・フイ(マレーシア)/銅金裕司(日本)/葉山銀(日本)/平井優子+山内朋樹+古館健(日本)/クワクボリョウタ(日本)/ロバート・ノース&アントワネット・デ・ヨング(オランダ)/中谷芙二子(日本)/ネリヴアー・レスラー(オーストリア)/ベン・ラッセル(アメリカ)/ビデオアース東京(日本)/ジョウ・タオ(中国)/ほか

[Artists]

Jananne AL-ANI (Iraq/U.K.) / Bissane AL CHARIF & Mohamad OMRAN (Syria/France) / Piotr BOSACKI (Poland) / Chris CHONG Chan Fui (Malaysia) / DOGANE Yuji (Japan) / HAYAMA Rei (Japan) / HIRAI Yuko + YAMAUCHI Tomoki + FURUDATE Ken (Japan) / KUWAKUBO Ryota (Japan) / Robert KNOTH & Antoinette DE JONG (The Netherlands) / NAKAYA Fujiko (Japan) / Oliver RESSLER (Austria) / Ben RUSSELL (U.S.A.) / Video Earth Tokyo (Japan) / ZHOU Tao (China)

会場 / ① ザ・ガーデンホール ② ザ・ガーデンルーム ③ STUDIO38 ④ 恵比寿ガーデンプレイスセンター広場 ⑤ 恵比寿ガーデンシネマ ⑥ 日仏会館ホール・ギャラリー ⑦ 恵比寿地域文化施設およびギャラリーほか


Venues: ① The Garden Hall ② The Garden Room ③ STUDIO38 ④ Center Square of Yebisu Garden Place ⑤ YEBISU GARDEN CINEMA ⑥ Auditorium and Gallery of the Maison Franco-Japonaise [French-Japanese House] ⑦ Related cultural facilities, galleries, etc.

*出品および出品作家については、変更する場合がございます。予めご了承ください。*Works, programs and participating artists/guests are subject to change.



1. NAKAYA Fujiko, *Foggy Wake in a Desert*, Sculpture Garden, National Gallery of Australia, Canberra Courtesy National Gallery of Australia [reference image] 2. DOGANE Yuji, *radioactive PLANTRON/Simple INTERACTIONS*, at Contemporary Museum of Art Roskilde, Denmark, 2011 [reference image] 3. Piotr BOSACKI, *Labyrinth Film*, 2014 Courtesy Stereo Gallery, Warsaw 4. ZHOU Tao, *Blue and Red*, 2014 Courtesy the artist and Vitamin Creative Space 5. HIRAI Yuko, *Sarumoko - The face of strangers*, 2014 [reference image] Photo: Akiko Nogami 6. Bissane AL CHARIF & Mohamad

OMRAN, *San Ciel (Without Sky)*, 2014 7. KUWAKUBO Ryota, *lost and found*, 2013 Photo: Kiyotoshi Takashima 8. Jananne AL-ANI, *Groundworks III*, 2013 9. Oliver RESSLER, *The Visible and the Invisible*, 2014 10. Robert KNOTH & Antoinette DE JONG, *Tree and Soil*, 2015 11. Ben RUSSELL, *Atlantis*, 2014 12. Chris CHONG Chan Fui, *END74 Pholidota sigmatochilus*, from "Endemic" series, 2015 13. Video Earth Tokyo, *Under A Bridge*, 1974 14. HAYAMA Rei, *SOME SMALLNESS COMING FROM LAND*, 2015



二〇一六年秋、
また恵比寿から。

ただいま休館中です。
2016年秋、リニューアル・オープン予定。

Closed for renovations.
We will reopen in fall 2016.

東京都写真美術館リニューアル準備室

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-12 電話 03-3251-3700(代)
(受付時間:平日9:30~18:15)

※土曜、日曜、祝祭日、年末年始(2015年12月29日~2016年1月3日)を除きます
※リニューアル準備室では、展示・観覧等はおこなっておりません

東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田
1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

www.syabi.com